

落語が聞けるぞ！

芸術鑑賞 1 1/8 (金) 5～7 時間目

本物の芸術に触れる機会として、毎年楽しみにしている人も多い芸術鑑賞。今年は「学校寄席」と題して「落語」を鑑賞します。特別に「色物」という楽しいプログラムも入れていただきました。

どうやって楽しむの？

落語は300年以上親しまれている日本の伝統芸能です。落語を演じる噺家さんは、話術と身振りだけで登場人物を演じ、最後に必ず「オチ」のある物語を語ります。映像がありませんので、話を想像しながら噺家さんの表情や身振りを楽しんだり、オチがどうなるのか予想するのも楽しいものです。他の噺家さんと表現の様子を比べて見るのも、粋な楽しみ方ですね。

ちなみに当日まで、話す演目はわかりません。当日の観客の反応を見ながら、準備した演目の中からその場で決められるそうです。話のプロって、すごいですね！

参考資料：『落語入門 CD付』成美堂出版、『マンガで教養 やさしい落語』柳家花録・朝日新聞出版

落語についてもっと知りたい人は、図書館特設コーナーへどうぞ。

図書委員おすすめの本

『子どもに飲ませたくない清涼飲料』(天笠啓祐 芽ばえ社)

この本には、様々な種類の清涼飲料の砂糖の量だったり、食品添加物の怖さだったり、清涼飲料水を飲みたくなくなることがたくさん書いてあります。ダイエットしたい人や、元気に過ごしたい人などにおすすめです。また、野菜ジュースや豆乳にも意外な怖さがあります。読んでみてください。

『ひぐらしの鳴く頃に』全7巻完結 (竜騎士07 講談社 BOX)

皆が穏やかに暮らしていた雛見沢。だが、この村にはひとつの伝承があった。誰も信じることができなくなり、錯乱してしまう彼ら。果たして幸せを手にすることができるのか？
はらはらどきどきする展開が続きます。ぜひ読んでみてください。

先生だって、本をすすめます！

全国の中学・高校の先生が、中高生に薦めたい本をアンケート形式で選ぶ「第5回 君に贈る本（キミ本）大賞」（読売中高生新聞主催）推薦本が決定しました。テーマ「友達とは？」で選ばれた本はこちら。

- 第1位 『友だち幻想 人と人の<つながり>を考える』菅野仁
- 第2位 『きみの友だち』重松清
- 第3位 『友情』武者小路実篤

このアンケートには熊本県内から唯一、天草高校の先生方も応募しました。

第6回募集テーマは「スポーツの力を感じさせてくれる本」。おすすめ本があったら、先生に教えてあげて！

